

ダニエル書 - 第三百七号

道標の預言的意義の解明：1776年から2023年まで

Jeff Pippenger

2024-03-15

2001年9月11日に始まり、アメリカ合衆国における日曜法で締めくくられる十四万四千の封印の時期は、あらゆる異象がその効力を発揮して成就する期間である。これらの異象の中にはキリストの再臨にまで及ぶものもあるが、日曜法以後に起こるものですら、封印の時期に結び付けられている。十四万四千の封印こそが、永遠の契約が完全に成就するところである。その時期にキリストは、ご自分の律法を御自分の民の心と思いに、永遠にわたって書き記す。その封印は、罪を犯すことのない神性と人性の結合として表されている。

「二百二十」という象徴的な結びつきは、回復と、神性と人間性の結合の両方を表している。欽定訳聖書から始まり、ウィリアム・ミラーが1831年に最初に公に発表し、やがて1833年にバーモント・テレグラフ紙に掲載されるに至る二百二十年は、神性と人間性の結合を表している。それには「真理」の署名が含まれているが、これは、ヘブライ文字の第一、十三、最後の文字を組み合わせて「真理」という語を形作った、驚くべき言語学者によって造られたヘブライ語の語である。1611年、すなわち欽定訳聖書から、1831年、すなわちミラーが自らのメッセージを公表するに至る二百二十年は、驚くべき言語学者の署名を反映している。

その二つの日付（1611年と1831年）の中間にある1798年の終わりの時は、ダニエル書（キング・ジェームズ版聖書）のメッセージの封印が解かれることを表しており、それが知識の増加をもたらし、1831年のミラーの出版へとつながった。また、1798年の終わりの時は、ダニエルは12章で悪しき者と特定している愚かな乙女たちの反逆を生み出す試練の過程の始まりをも画した。したがって1798年は、最初と最後の文字の中間にある数字13を表している。というのも、13は反逆の象徴だからである。1798年はまた、1776年から1798年に至る準備の期間、すなわち終わりの時とも結び付いている。

ミラーの二百二十年の結びつきにおいてそうであったように、1776年もまた神的な文書である独立宣言の公表によって印づけられ、1798年の外国人・治安法の公表で終わる時期の始まりとなる。ミラーの神性と人間性の象徴的な結びつきである二百二十年は、1798年によって、独立宣言の公表から1798年の外国人・治安法の公表に至る二十二年の準備期間と結び付けられている。二十二は二百二十の十分の一、すなわち二百二十の十一であり、二十二という数は二百二十という数と同様に、神性と人間性の結びつきを表している。

ミラーの二百二十年という期間には真理のしるしがあり、十四万四千人の封印の時期にも同様にそれがある。また、1776年から1798年に至る準備期間にも同じしるしがある。というのも、その中間に当たる1789年は、十三の植民地によって批准された憲法の公布を画しているからである。

1611年に始まり1831年に終わるミラーの連鎖は、その中間点を1798年に持ち、1789年を中間点とする1776年から1798年までの22年間と結び付けられている。5つの日付、すなわち1611年、1776年、1789年、1798年、1831年は、いずれも出版によって示されている。準備の期間の日付には、1776年から1798年までの二十二年という「十分の一」が含まれており、その期間は十四万四千人の封印の時、すなわち神性が人間性と結合する時を示している。ミラーの二百二十年の期間と、1776年から1798年までの二十二年の準備期間の双方は、神性と人間性の結合を表している。

十四万四千の封印の時は2001年9月11日に始まり、第三の災いのイスラムが霊的な栄光の地を襲ったことで特徴づけられた。二十二年後の2023年10月7日、第三の災いのイスラムは、典型的・文字通りの栄光の地を再び襲った。間もなく到来する日曜法の時に十四万四千の封印は完了し、第三の災いのイスラムは再びアメリカ合衆国を襲うだろう。

封印の期間は、イスラムによる地の獣への攻撃から始まり、イスラムによる地の獣への攻撃で終わる。その中間では、第三の災いにおけるイスラムが、聖書的にはユダとして表されるイスラエルの国を攻撃した。ユダは聖書における古代の文字通りの栄光の地であり、アメリカ合衆国は現代の霊的な栄光の地である。

イスラムによる三度の攻撃は、いずれも麗しの地に対して行われた。最初と最後のものは現代の霊的な麗しの地に対するものであり、中間の攻撃は古代の文字通りの麗しの地に対して行われた。中間の道標は現代のイスラエル国家への攻撃であり、彼らのメシアの十字架刑において、文字通りのイスラエルは反逆の象徴となり、それはヘブライ文字の第十三文字で表されるように。

1776年から1798年までの準備期間は、第三天使の運動の二百二十年とも結びついている。なぜなら、1776年の独立宣言に始まり、1996年の『The Time of the End』誌の刊行に至るまでが二百二十年だからである。その歴史の間には1989年の終わりの時があり、それは愚かで邪悪な乙女たちの反逆を示している。ゆえに、1611年、1776年、1789年、1798年、1831年、1989年、1996年、2001年、2023年、そして間もなく到来する日曜法は、神性と人性が結合したものは罪を犯さないという真理に関連する道標である。道標は十個あり、そのうち二つは二度繰り返されている。

十は試練を表す数であり、繰り返される二つの年である1776年と1798年をそこに加えると、道しるべは全部で十二となり、これは十四万四千人を表している。これらの道しるべはすべて、2001年9月11日からやがて到来する日曜法に至るまでに行われる十四万四千人の試練の過程を指し示している。そこで、キリストは、ご自分の神性を、以後永遠に罪を犯さない十四万四千人の人性と結び合わせることによって、第三天使の働きを成就される。もちろん、この事実は、イザヤが言うように、「目で見、耳で聞き、心で悟り、立ち返っていやされる」ことを選ぶ者にしか見えない。

1844年10月22日、キリストが突如ご自身の神殿に来て十四万四千人への封印を行うとき、第三の天使が到来した。続いて、ミラー派の一団がキリストに従って至聖所に入ったが、その後、彼らは第三の天使の前進する光に従うことをやめ、第一のカデシュの反逆を繰り返し、彼ら全員が死に絶えるまでラオデキアの荒野をさまようように定められた。

キリストが突然至聖所に入られたとき、神性と人性の結合は、彼が成し遂げるべく備えられていた働きを表しており、その働きは、二人の証人を伴う驚くべき言語学者によって象徴的に示された。その証人はハバククとヨハネであった。両書の第二章二十節において、1844年10月22日が示されている。一方はその日に始まった贖い（at-one-ment）の働きを強調し、もう一方は清められるべき神殿を示した。

彼が突然来られた神殿とは、「日々のもの（異教）」と「荒らす憎むべきもの（教皇主義）」という勢力に踏みにじられていた神殿のことである。その神殿はまた、壊され、三日のうちに建て直された神殿であるキリストをも表している。また、それは1798年から1844年までの46年間に築かれたミラー派の神殿をも表している。また、それは46本の染色体によって組織され、人間の身体の遺伝的構成を規定し統御している人間の神殿をも表している。人体のあらゆる細胞が2520日ごとに完全に入れ替わるのは偶然ではない。

神性と人性を結び合わせるキリストの働きを表す、神殿に関するこれらすべての神的な例証において、神性は常に人性に先行する。1611年は1831年に先行する。1776年は1798年に先行する。1776年は1996年に先行する。2001年は2023年に先行する。ミラー派はキリストに従って至聖所に入った。初めに神は人間を創造された。

ここで、封印の時期を特徴づける準備の期間を表す1776年、1789年、1798年という三つの道標についての検討に戻る。第一の期間は、1776年、すなわち独立宣言と第一・第二回大陸会議の時期によって表される。第二の期間は、1789年、合衆国憲法、そして1798年に至るまでの連合規約の時期によって表される。

獣たちの像の奥義、すなわち第八の頭が七つの頭に属するという真理は、両期間において明らかにされている。また、それはその歴史の第三の道標でも示されているが、その道標は、七つに属する第八について、教皇権による成就として言及している。最初の二つの期間は、アメリカ合衆国における七つに属する第八の成就を表している。

アメリカ合衆国は二本の角から成っており、一方は男性に、もう一方は女性に対応している。男性は政治権力であり、それは共和政の角である。女性は宗教的権力であり、それはプロテスタントの角である。したがって、1776年と独立宣言によって表される時期はプロテスタントの角を表しており、神性は常に人間性に先立つからである。1789年と合衆国憲法によって表される時期は共和政の角を表している。

2020年、両方の角は現代のサタンの的で無神論的な竜の勢力によって打ち倒された。真のプロテスタントの角は2020年7月18日に討たれ、その後、共和党の角は2020年11月3日に討たれた。2023年、二人の証人が立ち上がり、彼らの死体を喜び祝っていた世界は恐れ始めた。

2023年、地球の歴史の最後の世代において、十四万四千人に封印を施す最終の働きが始まった。終末の忠実な者たちがキリストの御姿を永遠にわたって再現する中で、神性は今や人性と永遠に結び合わされつつある。

2023年、地の獣の国家において、背教した教会と背教した国家を結びつける最終の働きが始まった。教皇制に代表される、背教した教会が背教した国家を支配するという権力構造がそのとき打ち立てられつつあり、獣の像を再現するものとなっていた。

召された者たちにとっての大いなる試練は、「声、稲妻、雷鳴」および来たる「地震」によって表されているように、獣の像の形成を見るという試練である。

封印の時は、すべての幻が完全に実現（成就）する時期である。封印の時を予表する1776年から1798年までの準備の期間には、「車輪の中の車輪」があった。これは、十四万四千人の封印の時に、エゼキエルが至聖所を見たときの幻の一部である。

その車輪を、ホワイト姉妹は「人間の出来事の複雑な相互作用」と述べている。1776年から1798年の準備の期間には、注目すべき「人間の出来事の複雑な相互作用」のいくつかが含まれていた。

一つは、革命期フランスがアメリカ合衆国を象徴していたという真実に関わっている。両国は共に教皇権を地上の王座に据え、また共にそれを引きずり下ろす。両国はその事業を成し遂げるために軍事力と経済力を注ぐ。両国は国教を突然廃してカトリックになる。両国は既存の政府を打倒する「地震」に見舞われる。両国の歴史は1789年によって結び付けられている。というのも、1789年にフランス革命が始まり、合衆国憲法が発効したからである。

フランス革命は10年間続いた。ナポレオン・ボナパルトはフランス革命の終盤に台頭した。彼は著名な軍事指導者となり、1799年11月9日のクーデターの成功後、フランス政府で重要な役割を果たし、これによりフランス共和国の第一統領となった。

1776年から1798年までの準備期間の第二期において、（順番という意味ではなく）七人に属しながら八番目であった人物は、ジョン・ハンコックであった。彼は、フランス革命の年である1789年に象徴される第二期の八人の大統領の一人であった。これら八人の大統領の中で、1776年に象徴される第一期でも大統領に在任していたのは彼だけであった。この予言的な意味において、彼は七人に属しながら八番目であった。

彼は人間の時代の象徴である。最初の時代は神性を表しているため、彼は（神的な時代と人間の時代）という二つの時代を結びつける象徴でもある。彼の署名は人類史上最もよく知られた署名であり、それは彼の見事な筆跡以上の意味を持っていた。

ジョン・ハンコックが独立宣言に記した署名は、歴史上最も有名な署名である。彼の大きく華やかな署名は、アメリカの独立と、イギリスの支配に対するアメリカ植民地の反抗を象徴する存在となった。独立宣言が署名された1776年当時、大陸会議の議長であったハンコックは、ジョージ3世が眼鏡なしでも読めるようにするため、自分の名をとりわけ目立つように大きく署名したと伝えられている。これは彼の大胆さと独立の大義への献身を象徴している。

ハンコックは、1789年に代表される時代の八人の大統領の一人だったが、1776年に代表される時代に大統領だった七人の男たちの一人でもあった。独立宣言が署名されたとき、彼は大統領だった。ハンコックは自らの人間の手による署名によって、その二つの時代を結びつける。そして彼は第一の歴史と第二の歴史の双方に位置している。第一の歴史は神的なものを表し、第二の歴史は人間的なものを表す。そして、二つの歴史を結びつける署名とは、人間という道具を用いて、1776年に代表される神的な時代と、1789年に代表される人間的な時代を結び合わせた、驚くべき言語学者の署名である。

世界の歴史において、知名度の点でハンコックの署名に匹敵する署名はただ一つしかなく、それもまた1789年およびフランス革命に関連する署名である。その署名には、ハンコックが伝えようとしたのと同種の大胆さがあり、フランスの歴史の中に見いだされる。

世界的な認知度と象徴的意義という点では、歴史的・文化的文脈は異なるものの、ナポレオン・ボナパルトの署名はジョン・ハンコックのそれに匹敵する地位を占めている。フランスの傑出した軍事的・政治的指導者であったナポレオンは、特にナポレオン戦争期に、ヨーロッパおよび世界の歴史に大きな足跡を残した。しばしば大胆で独特な筆致と評される彼の署名は、ナポレオン法典として知られる法改革を含め、彼がヨーロッパにもたらした抜本的な変革と、その強大な影響力を象徴するものとなった。

イギリスの支配への反抗とアメリカ独立の追求を象徴するハンコックの署名と同様に、ナポレオンの署名は、別種の大胆さと野心、すなわちヨーロッパの政治的境界の再編とフランス革命の理想の推進を表している。両者の署名は、それぞれの歴史的人物が自国の運命を形作るうえで果たした役割と、その行為が世界史にもたらしたより広範な影響を象徴している。

エゼキエルが車輪の中の車輪を見たとき、それは十四万四千人の封印の時代の歴史における人間の出来事の複雑な相互作用を表していたが、それらの車輪の一つは、1789年の車輪によって予表されていた。すなわち、共和主義の角とプロテスタントの角を持つ獣であるアメリカ合衆国憲法が、エジプトの角とソドムの角を持つ獣であるフランスと交差したときである。

1789年から1799年に至るまで、フランスは、底知れぬ淵から上ってきた無神論の獣に端を発する「地震」によって激しく揺さぶられた。十四万四千人の封印の時に、1789年は2020年7月18日から始まる期間を表しており、その日、無神論の獣が真のプロテスタント主義の角を打ち倒して滅ぼし、さらに2020年11月3日には無神論の獣が共和主義の角も打ち倒して滅ぼした。1789年の車輪は2020年の車輪を表しており、7月18日（神性）と2020年11月3日（人性）によって示される。

人類によって表された神の印は、世界で最も有名な二つの署名の中に見いだされる。これらはいずれも1789年と結びついており、また、教皇権を地上の王座に据えたり、そこから退けたりする権力を表している。神の真理の印を示す三つの道標のうち中間に当たる1789年は、「十三」の植民地とフランス革命の「反逆」という印を有している。

1789年から1799年まではフランス革命の歴史を表し、10という数は試験を表す。1789は「truth」の最初の文字であり、1799はフランスにおけるその期間の最後の文字を表す。中間の時期は、彼の傲慢な王としての支配に対して市民が反抗する中、1793年にフランス国王が処刑されたことで特徴づけられた。

フランスが拒んだ平和の福音は、あまりにも確実に根絶やしにされることになり、その結果は恐るべきものとなった。1793年1月21日、改革者たちの迫害にフランスが完全に踏み切ったまさにその日から258年後、まったく異なる目的をもった別の行列がパリの街路を進んだ。『大論争』230ページ。

1789年は、アメリカ合衆国の二本の角を持つ獣にとって第十三の文字に当たる反乱の年となり、フランスの二本の角を持つ獣にとっては第一の文字の年となった。フランスの中間の文字は1793年であり、そのときフランス王は首を刎ねられ、ナポレオンは1799年に政府を掌握したとき最後の文字を表した。1789年、1793年、そして1799年によって表されるフランス転覆の歴史における「真理」の印は、1776年、1789年、そして1798年の預言の輪と結びつけられた預言の輪である。

両方の歴史には、人類史上最も有名な二つの署名が含まれており、これによって「真理」という神的な署名が二つの人間の署名と結びつけられる。両方の車輪は、十四万四千人の封印の期間における第13の文字と結び付けられており、その期間とは、2020年に二人の証人が殺害されてから彼らが2023年に立ち上がるまでで、これは2023年10月7日によって示されている。

次回の記事で研究を続けます。